

自分たちの住む安芸市を自分たちで守りませんか

消防団とは

消防団は、消防機関の一つとして、皆さんの住む地域における消防・防災活動を通して、安全安心なまちづくりのため大切な役割を担っています。

活動は

日ごろは各自の仕事を持ち、災害発生時には、消火・警戒などの消防活動を行い、平常時においても、訓練・年末警戒・広報活動に携わり地域における消防・防災の中核的存在として、大いに活躍が期待されています。

女性消防団員は

現在 10 人の女性消防団員が活動中で、災害現場への出動はしませんが、防火・防災の啓発活動を行っています。

待遇は

公務災害補償などの制度があります。

活動に必要な被服・装備品等を貸与します。



活動実態に応じた手当が支払われます

消防団員は、火災や水災、警戒、搜索活動などの出動や、訓練、研修、会議、その他の消防活動に対してその活動の実態に応じた手当が支給されます。その他、機械器具点検手当（消防ポンプ車、小型ポンプ積載車、運搬車、小型ポンプの点検）や、一年間に決まった額の報酬が支給されます。

年間行事は

4月	高知県消防大会	7月	連合会訓練
8月	納涼祭花火警備	9月	安芸市防災訓練
11月	秋の火災予防運動	12月	消防年末警戒
1月	消防出初式	1月	文化財防火デー
3月	春の火災予防運動		



安芸市消防団のなりたち

安芸市は昭和 29 年 8 月 1 日市町村合併促進法に基づき、1 町 7 村（安芸町・伊尾木村・川北村・土居村・井ノ口村・畑山村・東川村・赤野村）が合併し人口 3 万余名の田園都市として発足しました。

安芸市消防団は昭和 29 年 8 月 1 日消防団結成とともに初代団長に野町紀稔之助氏が就任。分団数 10 分団（伊尾木分団・川北分団・東川分団・安芸分団・中央分団・土居分団・井ノ口分団・畑山分団・穴内分団・赤野分団）団員総数 314 名、消防ポンプ自動車 5 台、手引動力ポンプ 4 台、小型動力ポンプ 1 台、合計口数 15 口の消防力で発足しました。

その後、昭和 33 年 8 月 1 日に消防団員条例定数を改正し、定員 282 名とし現在実員 246 名で今に至っています。

現在の消防力は、消防ポンプ自動車 10 台、小型ポンプ積載車 5 台、運搬車 10 台、小型ポンプ 9 台であり、消防ポンプ自動車と小型ポンプ積載車にはナビゲーションシステムを、全車両に消防救急デジタル無線を搭載し、南海トラフ地震対策としてエンジンカッター、チェーンソー、電動ウィンチ、油圧カッター、油圧ジャッキなどの救助資機材が充実しています。